

2006年1月12日

各位

情報コミュニケーション学会 会長 阪井 和男  
第3回全国大会実行委員長 山本 恒

### 情報コミュニケーション学会 第3回全国大会のご案内

拝啓

雪の便りが届く季節になりましたが、皆様におかれましてはますますご活躍のことと存じ上げます。  
本学会は、情報コミュニケーションに関心のある小学校・中学校・高等学校・大学の教員が中心となり、情報交換・交流の場としての役割を果たし、実践的な研究をとおしてよりよい教育をおこなうために活動を行っております。

さてこの度は、2006年2月25日、26日に開催されます、情報コミュニケーション学会第3回全国大会のご案内を差し上げる次第です。

つきましては、模擬授業・企画セッション・一般発表の発表者を募集いたします。小・中・高校・大学の先生方、企業のみなさまのご発表をよろしくお願ひします。

みなさまのご協力をよろしくお願ひいたします。

敬具

#### 記

1. 期日 2006年2月25日(土)、26日(日)
2. 会場 園田学園女子大学 30周年記念館(兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1)  
交通アクセスについて、詳しくは <http://www.sonoda-u.ac.jp/access.html> をご参照下さい。また、大会当日は駐車スペースがございませんので、公共交通機関でお越し下さい。
3. 主催 情報コミュニケーション学会
4. 後援 (依頼中)兵庫県教育委員会、尼崎市教育委員会、ひょうごeスクール コンソーシアム、兵庫県教育工学研究会、近畿情報教育連合、教育システム情報学会関西支部

5. 日程 < 2月25日(土) >

- 10:00～ 受付  
10:30～12:00 模擬授業  
12:00～13:00 昼食  
13:00～13:30 総会  
13:30～15:30 企画セッション(4会場)  
    キーワード: キッズ, 高齢者, 教育支援システム, 情報教育  
    K1(テーマ: 基礎学力とコミュニケーション能力)  
    K2(テーマ: 高齢者と情報機器)  
    K3(テーマ: コミュニケーションを意識した教育支援システム)  
    K4(テーマ: 情報伝達を意識した情報教育)  
15:45～17:15 基調講演  
    園田学園女子大学 情報コミュニケーション学科長 山本 恒  
    「アナログコミュニケーションからデジタルコミュニケーション  
    ～情報コミュニケーション学の原点を探る～」  
17:30～ 懇親会(30周年記念館 1F 開花亭にて)

< 2月26日(日) >

- 09:00～ 受付  
09:30～12:30 一般研究  
12:30～13:30 昼食  
13:30～15:30 ワークショップ

6. 研究発表 申し込み締切 1月31日(火)

論文提出締切 2月8日(水)

別紙【研究発表申し込み】をご覧ください

7. 参加費等 参加費 1,000円 論文集 2,000円 懇親会費 4,000円

8. 大会事務局 園田学園女子大学情報教育センター内

情報コミュニケーション学会第3回全国大会実行委員会

(E-mail: cis2006@sonoda-u.ac.jp)

9. 全国大会ホームページ <http://www.sonoda-u.ac.jp/cis/>

## 企画セッションについて

### K1 テーマ「基礎学力とコミュニケーション能力」

子ども達の読む、聞く、書く、話す力の低下が問題になっている。これらの力は、私達がコミュニケーションを行う場合の基本的な力であり、小・中学校の国語科の基礎学力として身につけておかなければならない力でもある。また、メディアをとおしてコミュニケーションを行う場合には、これらをもとにして心情や思いを伝えるスキルも必要となってくる。そこで、これらをはじめとする基礎学力と情報社会に必要なコミュニケーション能力との関係に焦点を当てた研究発表などを期待する。

### K2 テーマ「高齢者と情報機器」

高齢化や情報化社会の中で、高齢者にとって情報機器の技術の習得と生活での活用は無視できない状況になってきている。高齢者にとって、情報関連の講習会などの機会も多くなり、その学習意欲も高くなっているが、パソコンなどの情報機器に対する高齢者特有のつまずきがあるようで、効果的な講習が難しい現状がある。これらの「つまずき」の原因を中心に、高齢者の情報技術の習得について幅広く議論したい。

### K3 テーマ「コミュニケーションを意識した教育支援システム」

様々な教育支援システムが開発されているが、ほとんどのシステム設計には学習者同士または教師と学習者のコミュニケーションが起る工夫がなされている。そこで今回は、教育を支援するための、パソコンや携帯電話、e-Learningなどを活用したシステム開発や実践事例をコミュニケーションの視点から整理したい。

### K4 テーマ「情報伝達を意識した情報教育」

現代社会において、情報機器を介したコミュニケーションの機会は、その良し悪しとは関係なく、確実に増えつつある。そこで、情報教育の中で、情報伝達を意識した実践事例をとおして、機器を介したコミュニケーションの光と影を明らかにしたい。

## 模擬授業について

教科情報の中で、「情報コミュニケーション」という分野があるとした場合、どのような授業が提案できるのか、実際に模擬授業をしてみませんか。様々な切り口の授業が考えられると思いますが、模擬授業をとおして、私たち学会が追求していくべき「情報コミュニケーションとは何なのか？」について考えていきたいと思えます。是非ふるって応募してください。

授業時間：50分

対象：高校生（実際に高校生が参加できない場合は、参加者が高校生の役をします）

その他：現在の学習指導要領に縛られる必要はない

## ワークショップについて

みんなに「知ってほしい、広めたい」あなたの研究や授業、アプリケーションなどを紹介したり、実際に使ってみたりして、仲間を増やすためのワークショップを設けました。ぜひ、ワークショップを企画してください。展示企業の方もぜひワークショップを開催してください。

時間帯：第2日目 13:30～15:30

## 研究発表・応募要項

日 時：2006年2月25日(土), 26日(日)

- 2月25日(土) 10:30~12:00 模擬授業
- 2月25日(土) 13:30~15:30 企画セッション(k1-k4)
- 2月26日(日) 09:30~12:30 一般研究
- 2月26日(日) 13:30~15:30 ワークショップ

会 場：園田学園女子大学 30周年記念館 (兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1)

### 1. 応募資格

学会会員, 及び入会希望者の他に, 今回は学会会員以外の方の応募も受け付けます.  
発表後の入会の義務等は特にありません.

### 2. 発表時間

- ・ 模擬授業 (授業) 50分
- ・ 企画セッション (発表) 20分
- ・ 一般研究 (発表) 20分 (質疑応答) 5分
- ・ ワークショップ 120分

### 3. 発表形式 個人発表・グループ発表のいずれでも可

PC, OHC, VTR等のプレゼン機器の使用可

### 4. 発表内容

- ・ 個人研究
- ・ 小・中・高校での「総合的な学習の時間」や教科「情報」等の, 児童生徒による学習成果の報告
- ・ 大学・短大等の授業やゼミでの, 学習・研究成果の報告
- ・ 地域や団体・企業・施設等での, 情報コミュニケーションに関する実践活動の報告

### 5. 応募方法

次に示す各項目を明記したメール(添付ではなくテキスト形式で)にて, 申し込み締切日までに大会事務局宛(cis2006@sonoda-u.ac.jp)に送信して下さい.

[ 1 ] 発表区分(以下の項目より1つ選んでください)

- ・ K1 「基礎学力とコミュニケーション能力」
- ・ K2 「高齢者と情報機器」
- ・ K3 「コミュニケーションを意識した教育支援システム」
- ・ K4 「情報伝達を意識した情報教育」
- ・ 一般研究
- ・ 模擬授業
- ・ ワークショップ

- [ 2 ] 発表タイトル (副題も可)
- [ 3 ] 要旨 (200 字程度)
- [ 4 ] キーワード (5 つまで)
- [ 5 ] 著作者 (お名前と所属, 連名でご発表の場合は口頭発表者に をつけて下さい)
- [ 6 ] 連絡先
  - (1)お名前 (漢字とふりがな)
  - (2)E-mail
  - (3)〒, 住所
  - (4)電話番号
  - (5)FAX 番号

6. 研究発表申し込み締切 2006 年 1 月 31 日 (火)

なお, 論文提出締め切りは, 2006 年 2 月 8 日 (水) です .

MS-Word のひな型を用意してありますので, ご利用下さい .

<http://www.sonoda-u.ac.jp/cis/zenkoku/03/cis2006-skeleton-paper.doc>

[1]発表区分の模擬授業とワークショップにつきましては, 論文の提出はありません . 発表タイトルと要旨 (開催意図と内容がわかるもの) を, 大会事務局宛 (cis2006@sonoda-u.ac.jp) にお送り下さい .

7. 応募送信先 大会事務局 園田学園女子大学情報教育センター内  
情報コミュニケーション学会第 3 回全国大会実行委員会まで  
E-mail: cis2006@sonoda-u.ac.jp